

新年会 (1 月 19 日) でお会いしましょう



山岸麻悠美さん

旧丸子町出身。桐朋学園大学院修士課程修了。都内音楽教室などで後進の指導。全日本ピアノ指導者協会会員。



Photo Shigeto Imura

塩野入清美さん

坂城町出身。桐朋学園大研究科修了。フリー奏者として多岐にわたる分野で活動。日本弦楽指導者協会会員。

バイオリンのミニコンサート

塩野入清美さん(85期)の演奏
ピアノは山岸麻悠美さん(101期)

関東同窓会は 1 月 19 日(木)のミニコンサートです。塩野入に千代田区一ツ橋の日本教育会館で新年会を開きます。昨年は母校が大河ドラマ「真田丸」の番組の中で紹介されるなど、全国注目を浴びた年でもありました。その余韻が残る中、同窓会のさらなる活発化のための基金活用も承認され、役員一同、同期会の結成を推進するなど、心を新たにしています。

塩野入さんは桐朋学園大学音楽学部卒。霧島国際音楽祭、アトラクションはバイオリン

エディル音楽祭などに参加。現在フリー奏者としてオーケストラ、室内楽、スタジオなど各分野で活躍されています。

最近では東京宝塚劇場の公演の演奏に参加されています。「関東同窓会の皆さんと新年会にご一緒させていただけることを楽しみにしています」と話しています。

山岸さんは桐朋学園大学院修士課程修了。松本交響楽団、マウントあさま室内合奏団と協演し、ソリストを務めるなど長野県内、東京都内で演奏活動をされています。

ミニコンサートの後は懇親会。楽しい会話と、お酒、お料理をどうぞ。誘い合ってください。お待ちしております。

【日時】 2017 年 1 月 19 日(木)
18:00 受付開始
18:30 開会・演奏会
19:20 懇親会

【会場】 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
日本教育会館 9 階 喜山倶楽部

【会費】 5000 円

【交通】 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線
神保町駅 A1・A8・A9 出口
徒歩 3 分
地下鉄東西線竹橋駅 1b 出口
徒歩 4 分



次期役員候補 選考委員会を設置

10 月 6 日に開催された平成 28 年度第 2 回幹事会において、29 年度の役員改選に向け「次期役員候補選考委員会」の設置および委員が決定されました。

委員会メンバーは現役員の会長、副会長、幹事長、会計長、編集長と筆頭副幹事長を含め 10 人で構成されます。

10 月未までに会員から次期役員候補の推薦をいただき、委員会での推薦も含め検討し、4 月の幹事会および 6 月の総会での承認後に新体制が発足となります。

幹事長 倉沢 裕 (69 期)

第55回総会を開催

基金活用規程改正を承認

永井正夫氏(62期)が講演

238人参加

関東同窓会は6月25日(土)、千代田区一ツ橋の如水会館で第55回総会・懇親会を開いた。母校や同窓会本部、関西同窓会、中南信支部の来賓も含めて238人が参加した。総会では運営基金規程改正案が承認された。

▽「山極勝三郎物語」で講演

第1部の講演会では映画プロデューサーの永井正夫氏(62期)が映画「うさぎ追いつく山極勝三郎物語」制作の経緯や撮影エピソードなどを約40分間にわたり紹介した。

永井氏は約11年前に入院したが、研究会有明病院で、世界で初め



講演する永井正夫氏

て人工がんを作った上田出身の山極勝三郎のことは知った。以前映画と一緒に作った近藤明男氏を監督に、遠藤憲一を山極勝三郎役に2016年3月撮影を開始した。本郷にあった山極家の場面は上田市丸子の製糸結社・依田社の迎賓施設だった依水館でロケした。ロケには信州大学繊維学部講堂なども使った。

タイトルの「うさぎ追いつく山極勝三郎」のことを調べるのに使った雑誌「信濃教育」に載っていた自宅の図面にオルガンがあるのを発見。「子どもにオルガンを弾かせよう」ということになり、曲は『ふるさと』に決まった。しばらくして作曲したのが上田高校の校歌を作曲した岡野貞一だったことを知った。思いもしなかった偶然だがこれも何かの引き合わせだろうと思ったという。

映画制作のお金

うさぎ追いつく
山極勝三郎物語

有楽町スバル座など各地で上映中



トロンボーンに合わせて全員で校歌斉唱

集めに回ったときに山極を知っている人はほとんどいなかった。永井氏は「この映画をきっかけに全国の人に山極の偉業を知ってもらいたい。特に小中学生にぜひ見てほしい」と結んだ。映画は長野県内4市で先行上映、東京・有楽町のスバル座で12月から上映している。

会場で行った山極勝三郎カンパは58,500円が集まった。永井氏からは講演料を関東同窓会への寄付としていただいた。

▽基金活用規程改正を承認

続いて開いた総会では高梨奉男会長が「50〜60歳を過ぎると石川啄木の『故郷の山に向かひて言うこと無し 故郷の山はありがたき

かな』の詩の良さや上田高校の良さが分かる。先輩の皆さんは今日若手とそういう話をしてほしい。若い皆さんは先輩がなぜふるさとがいいなと思っているのか、聞いてほしい」とあいさつした。

議事では会務報告、決算報告のほか、年30万円を限度に運営基金を活用できるとした運営基金運用規程改正案が審議された。基金活用については「元本は使うなということではなかったか」など意見や質問があり、幹事長が「同窓会の役に立つことに使わせていただきたいという提案です」と説明、他の議案とともに拍手で承認された。

▽会場にトロンボーンの響き

第3部の懇親会は隣のスターホールに会場を移し、東御市出身で新日本フィルハーモニー交響楽団の奥村晃さん(89期)のトロンボーン演奏を楽しんだ。ピアノ伴奏は同じ東御市出身の金井美穂さん(105期)が担当。奥村さんは合間に曲の解説やトロンボーンについて軽妙な説明を交えながら「見上げてごらん夜の星を」などなじみのある曲を披露した。アンコールに代えて、放映中の「真田丸」のテーマを演奏。最後は演奏に合わせて全員が校歌を歌った。

あいさつする内堀校長(上)と金子理事長



懇談・会食では、内堀繁利校長が2年目を迎えたSGH活動について説明。2年生全員が初めて海

外の研修旅行として台湾へ行くことや、同窓会の金井勝氏が初代校長を務めた縁で台湾の国立苗栗高級中学校と5月に姉妹校協定を結んだこと、2年生が首都圏フィードワークで大学や企業を訪ね研修することなどを紹介した。5月に本部同窓会の理事長に就任した金子元昭氏(68期)が「会費問題ははずこも同じ。関東同窓会だけでなく本部の会費もよろしく」と訴えたあと乾杯した。参加者は期ごとにテーブルに別れ、料理や飲み物を飲みながら懇談した。





同期会結成と会員増を

会長 高梨奉男(62期)

明けましておめでとうございま
す。 70期以降の期ではクラス会は

6月25日の総会で新たに基金活
用が承認されました。用途は基金
を拠出してくださった先輩諸兄の
ご意志に沿うべく、本同窓会の発
展と母校支援に使われます。本年
度は基金から30万円を取り崩し、
同期会結成や会費納入キャンペーン
に努力して下さる期代表幹事
への通信費補助が主な使途となり
ます。



高梨奉男 会長

本会員の期別加
入状況と会費納入
状況は大変濃淡が
あります。男女
半々の共学となつて、また生徒数
も1学年300〜330人と減少
し長い年月がたちました。OGの
皆さんは結婚、育児に追われて同
窓会にはなかなか目がいかない方
が多いでしょう。それでも80期く
らいの方から「子供も巣立ち今後
は同窓会をお手伝いする時間がで
きそうです」とのお便りを頂ける
ようになってきました。

同窓会を盛会にしていきた
す。

めには同期会の結成が不可欠で
す。70期以降の期ではクラス会
行われているようですが、同期会
結成済みの期は少ないのが実情で
す。80期以降は本会の会員数が50
人未満の期が大半です。従来同期
会結成は各期の2〜3人の自発的
活動(費用面も)に負っていまし
た。本年度は同窓会として期代表
幹事を通信費などの金銭的援助を
含めて積極的に支援していこうと
思っています。新卒業生
に対しても初めての夏の
帰省時を利用してはどう
か、就職活動に入る大学
3、4年生のために総会
時に会員が相談に乗るコーナーを
設けてはどうかといった提案も頂
いています。実行できるところか
ら着手していきたいと考えており
ます。会員各位におかれましても
同僚や後輩の皆さんに声掛けをし
ていただけたらと思います。
本年が会員各位に、また本会に
とって良い年であることを祈りつ
つ、新年のごあいさつといたしま

基金活用事業がスタート

年会費納入促進事業など

本年度総会において、基金の活
用が同窓会活動活性化に資する事
業について、年間で30万円を限度
として可能となりました。基金活
用初年度の具体的な事業は「年会
費納入促進事業」として、納入率
がやや低調な70期代について11月
から納入キャンペーンを行って
り、その通信費などを支援してい
ます。

また、具体的な進め方について
10月25日に該当期の代表幹事の皆
さまに集まっていたいただき、説明会
も実施しました。
他には、「若手会員の同期会組
織化支援事業」として、来年度実
行委員(70期、75期、80期、85期、
90期)について同期会結成のため
の通信費などを支援しています。
その他の期についても同様の目
的の費用は当事業の一環として支
援させていただきますので幹事長
にご相談ください。
このほかの事業として、委員会
活動支援としての赤松小三郎研究
会・講演会の特別講師へのお礼や
女性同窓会の会場代などを予算の
範囲で支援しています。
幹事長 倉沢 裕(69期)

京連 事務局長に倉沢氏(69期) 東同 上田高校から2人目

長野県高等学校同窓会東京
連合会の事務局長に、関東
同窓会幹事長の倉沢裕氏が
2016年7月、就任した。
任期は4年。
同窓連は長野県の高校の
東京地区の同窓会を会員と
して、交流および長野県や
母校への貢献を狙いとして、
1975年に創立。加盟同窓
会は57校。
上田高校からは00〜03年に
故山崎延秋氏(48期)が事務
局長に就任しており、倉沢氏
が2人目。

総会に向け

キックオフ

11月4日に日本橋事務所で行
行委員(70期(3人)、75期(2
人)、80期(1人)の代表幹事
および有志が集い、第56回総会・
懇親会に向けてのキックオフを
行った。

第1部は会長および幹事長か
ら前回の状況と反省点、第56回
総会・懇親会についての役割分
担や準備スケジュールなどの説
明があった。高梨奉男会長から
は、実行委員期としてこの機会
に期の組織化を進めることが一
番のポイントとの指摘があつ
た。

第2部は隣の居酒屋に場所を
移し、各自の近況や総会の成功
に向けての決意などを語り合つ
た。また、2〜3月頃に新年会
を兼ねて期ごとにキックオフを
行うことを約束し、その後は終
盤を迎える真田丸ネタで盛り上
がった。
実行委員期の皆さん、改めて
お声を掛けますので、ご協力よ
ろしくお願いします。

(70期 丸山清光)

上田高校で社会講座 同窓生が専門分野の講義

上田高校で9月13日、卒業生が1年生に自分の専門分野について講義する社会講座が開かれました。講師を務めた皆さんの報告を紹介します。

宇宙と海と人間と 井出浩一(79期)

大河ドラマ「真田丸」が放映され、個人的にも第二の会社人生が始まった今年、とても貴重な経験をさせていただきました。

学生の頃、上田の美しい星空の下で宇宙の神秘に触れたことがきっかけで大学院まで宇宙論を専攻。また、小中と続けた水泳の影響と海のない山国で育った反動で「人は海のある星に生まれた」と確信するほどスキューバダイビングで海に没頭。その結果、ライフワークでは「人間(コミュニケーション)」を選択し30年前にNTTの門をたたきました。以来、人と人や、人と社会がつながり、さまざまなコミュニケーションが円滑になるようにとネットワークを利用した仕組みを提供し続けてきた、その自己の変遷と経験を、今

回、映像や写真を交えお話ししました。

宇宙カレンダーでは西暦0年から3秒にしかたつていない、地球は宇宙空間を回転しながら超高速で移動し二度と同じ位置にいないとか、海(地球)では自ら撮影した写真で海の美しさや生態系の神秘を伝えました。その結果、なぜ仕事で「人間」を選択したかを軸に、スマホやタブレットなどの道具が現れ、誰でもリアルタイムにつながり、ポケモンまで捕獲することが現実化すると、数年前には誰も想像してなかったことを伝え、その基本である情報通信の原理や仕組みと、今後どんな進化が想定できるかの可能性を語りました。

やがて何かの道を選択する瞬間は必ず来るが、それはいつでも見直すことができる。大切なことはそれが人々の生活にどう役立つのかを自らへ常に問い続けることであり、時には百年後に何を残すかも考えること。若い頃の勘と経験は決して自分を裏切らないし、特に上田高校での友人は生涯の宝物

になる。寝る間を惜しんでひたすら食欲に挑戦し、友人も大切に過ごしてほしいと伝え、高校時代に会った本も紹介し、古城の門を後にしました。

立体デッサンの実習 服部みどり(81期)

10年ほど前になるかと思いますが、一度、社会講座に伺わせていただいたことがあり、その時に生徒さんを退屈させてしまったのではという反省がありました。

今回、また同じことにならないよう、どうしたら良いかとても迷いました。私は信州大学繊維学部感性工学課程で1年に数回、実習授業をしているのですが、いつも大学生にしている授業をさわりだけでも体験してもらえたらと担当の先生にお話をしたところ、快諾



特殊な針を使いキャラクター人形を作る方法を説明する服部さん

初めに技法の説明をし、その後、生徒さんが制作している途中途中で、キャラクターの顔作りや、商品、本の制作過程について触れたので、実際の制作時間は1時間を切っていたと思います。でも生徒さんの集中度が高く、想定よりかなり早い時間で全員の作品ができ上がりました。それぞれに個性があり完成度が高い上、ひと手間加えるなどのチャレンジもあり、自分が高校生の時とは比べものにな



講義を聴き作品を作る生徒

らないレベルの高さに驚きました。芸術分野はひとくくりになってしまうので美術以外の進路を希望している生徒さんも多くいたと思います。でもデッサンというのは(今回は立体デッサンですが)その人がどのようにものを見て感じているかの確認作業なので、分野に関係ないのだと改めて感じました。講座の最後にみんなが作品の写真を撮りました。懐かしい教室で、すばらしい時間を一緒に過ごしていただいたことに感謝しています。

櫻田法律
事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)
弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092
千代田区隼町2-17 パレスサイド千代田3F
Tel. 03-3512-3562 Fax. 03-3512-3563
E-mail : sakura@sakurada-jimusho.com



母校の後輩に接して 矢島基美 (72期)

今年の9月は、立て続けに母校の後輩たちに接することになりました。ひとつは、上田高校がスーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)に指定され、その2年生向けプログラム「首都圏フィールドワーク」の講師のひとりとして依頼を受けたからです。

法学(憲法)を専攻する私の場合は、「人権ジェンダー」がコース・タイトルとなっていましたので、信仰により無輸血手術を希望したにもかかわらず輸血されてしまった裁判例を素材に、いわゆる自己決定権について講義しました。生徒たちは熱心に聞いてくれて、なかにはポイントをついた質問が出るなど、とても良い印象が残っています。

また、3人の生徒が各自の課題研究(司法取引、選挙権年齢の引き下げ、知的財産権)について発表し、それに対するコメントを求められました。最近の若者の関心事とそれに対する意見を知ることができて、とても有益で、興味深く感じました。

もうひとつは、同窓会の支援のもと、現役生の進路選択やキャ

リア形成を目的に、母校で開かれている「社会講座」に出向いた折です。私自身、すでに何年も講師を務めています。今回もその1人として、高1生相手に、私の経歴や仕事の内容とともに、法学を学ぶことの意味についてお話ししました。

実は、法科大学院の低調さが影響してか、法学部志望者数の停滞・減少が続く、私の担当する講座には10人そこそこということもありました。ひと時代前は、進路選択に迷っていると、つぶしがきくから法学部に行けなどと言われ、それで数多くの進学者がいたことからすると、隔世の感があります。また、私の頃比べ、生徒たちは全体としておとなしく、猛者が少なくなったように感じます。ごちんまりとした(その意味では、無難な)生き方を否定するわけではありませんが、上田高校で学ぶ者の誇りをもって、志高く挑戦していったほしいと思います。(筆者は上智大学法学部長)

自分の夢は何か 四方(森) ゆかり (81期)

自己の職歴に基づく専門分野の職務について講義することを期待

されているのがこの社会講座です。しかし27年従事してきた人事分野は、社会人になる前の生徒にとつては、その職務内容や困難さが分かりづらいものです。また新卒の時点で就くことが、理想でないキャリアともいえます。そういう背景から、自分の職務紹介だけでなく、生徒向け、または企業の社内講師として語る機会が多い、キャリアの考え方、最近の進路についてどんな人材が求められているかについてお話ししました。

私の講座には三十数人が参加されましたが、まだ自分が将来何になりたいか、進路がはっきりしていない生徒が多かったように思います。しかし現実には、1年生において将来何を専門に勉強したいか、将来就きたい職業が決まっている生徒のほうが少数でしょう。大事なものは、それを真剣に考える機会をもつことです。

一昔前と異なり、学びのアプローチも多様化しています。就職する前に世界を見たり、社会に貢献したりする活動などは、そこで得た経験がプラスとして評価される世の中になっています。そして今ではグローバルとは無縁なビジネスはほとんどないですから、そ

神田美容外科形成外科医

院長・医学博士

征矢野 進一 (69期)

千代田区鍛冶町二一七二
〇三―三三三―五七〇二―二

こで求められる能力も、単に偏差値の高い大学を卒業する賢さだけでは足りません。具体的にそれらは何なのかを、例を挙げながら説明しました。そして本題である進路を決めるには、大学のどんなところをみて選択するのがよいかについて語りました。それを決めることは親からの最初の自立であることも。しかし一番大事なものは、自分にはどんな夢が、どんな実現したいことがあるのかで、大学の進路はその一ステップにすぎないのです。またそれに向かつて真剣に努力する姿勢、経験が、その後の生き方のパターンとなる可能性が高いことも伝えました。

将来についてはまだ先のことと感じている生徒も多いようでしたが、何も考えたことがないからこそ、そのためのヒントとなる授業であれば幸いです。将来は上田で働く決めていた生徒であつても、一度はこの地を出て、外から眺める経験も重要であるので、そういう空気に感じてもらえたのであればうれしいです。

2016年度社会講座講師

| | | | |
|---------------|-----|-------------|-----|
| 高松 寿夫 (文学) | 83期 | 小林 充 (工学) | 83期 |
| 龍野 有子 (文・社会学) | 80期 | 北澤多喜雄 (獣医学) | 73期 |
| 山本 崇 (国際学) | 88期 | 松岡 大輔 (医学) | 98期 |
| 矢島 基美 (法学) | 72期 | 井出 浩一 (情報学) | 79期 |
| 森 ゆかり (経営学) | 81期 | 服部みどり (芸術) | 81期 |
| 両角 達男 (教育学) | 83期 | 相馬 貴子 (体育) | 84期 |
| 相良 明男 (理学) | 68期 | | |

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート8階
TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801
http://www.eclat-c.com/



首都圏でフィールドワーク 2年生が大学、企業で研修



上田高校2年生321人が9月12〜13日、スーパーグローバルハイスクール(SGH)の活動の一環として実施した首都圏フィールドワークに参加、大学や企業などで研修した。筑波大学や鹿島建設に同行した関東同窓会の原田義則副会長と倉沢裕幹事に当日の様子を報告してもらった。(15ページに関連記事)

▽116人が筑波大学訪問

環境生命グループ(H)38人、テクノロジ(テ)グループ41人、テクノロジ(ト)グループ37人が9月13日に筑波大学を訪問した。

環境生命グループは13日午前、筑波大学が世界に誇る国際統合睡眠医学研究機構教授の柳沢正史機構長(父君の故柳沢清史氏は上田高校の44〜4期)とそのグループ員による研究紹介と生徒3人による課題研究発表。発表はいずれも優秀で柳沢教授ほかの大学スタッフから高い評価を得た。午後



筑波大学国際統合睡眠医学研究機構で環境生命グループ

は筑波大学が世界をリードする藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターを訪問した。Iグループは13日午前は山浦雄一JAXA理事(68期)の紹介でJAXA筑波宇宙センターを訪問し、午後は筑波大学プラズマセンターを訪問した。Jグループは13日、Iグループと共に筑波宇宙センターを訪問し、午後は最新の省エネパソコンが稼働中の筑波大学計算科学研究



鹿島建設海外事業本部で建設業の海外展開について講義

答で、講演は鹿島建設における海外展開状況や課題、自身の海外勤務経験など分かりやすい内容だった。直近の海外売上規模は建設業としては2番目で海外売上比率は21%とのこと。海外展開での課題は①情報収集やコミュニケーション②現地社員とのコラボレーション③紛争やテロのコントロールリスク対応など、具体的な事例を含め話があった。

センターを訪問した。

プログラム関連の内容、報告書などを見せていただいたが、この全員参加型SGHプログラム(海外研修も実施)の企画・運営は素晴らしい、上田高校生は他校の生徒に比べていかに恵まれた環境にいるかを認識してほしいと感じた。

原田義則(65期)

▽海外ビジネスを学習

ビジネス・都市グループ36人は13日に港区赤坂の鹿島建設海外事業本部を訪問した。同本部顧問の龍野広氏(69期)の講演と質疑応

現在の母校では社会講座でさまざまな業界OBの話聞く機会があるが、実際に会社を訪問しOBからナマの話聞いたことは有意義だったと思うとともに、自分自身の高校時代と比較して、研修そのものが大きく変化していることを痛感した。

倉沢 裕(69期)

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目9番18号
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL: 03-5570-5671 (代表)
FAX: 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

| | |
|---------|------------|
| 弁護士(所長) | 岩井 重一(62期) |
| 弁護士 | 安田 隆彦 |
| 弁護士 | 平澤 慎一 |
| 弁護士 | 波戸岡 光太 |
| 弁護士 | 黒澤 真志 |
| 社会保険労務士 | 岩井 信也 |



上田ゆかりの偉人

芭蕉を世に広め 俳句の新時代を開拓

俳人 加舎白雄

市村光志 (62期)

古池や蛙飛び込む水の音 芭蕉

この句を知らない日本人は少ないと思います。俳聖と言われる松尾芭蕉が蕉風俳諧を確立した句とされ江戸時代から知られています。さて今ではこのように知られている芭蕉ですが、芭蕉が1694年に亡くなった後、半世紀ほど芭蕉の名は世間からは忘れかけた存在になっていました。この芭蕉の俳句の素晴らしさを再認識したのは白井鳥酔でありましたが、その後継者である加舎白雄の三千人とも五千人とも言われる弟子によってようやく全国に広まり今日に至っています。まさに蕉風復活による俳句の新時代を切り開いた開拓者です。

俳人・加舎白雄は1738年上田藩士加舎次男として江戸深川に生まれました。本名は吉春。白雄が19歳の時上田に移住しました。居住した場所は北大手柳沢病



上田城跡公園入り口にある加舎白雄の句碑 吉野山で詠んだ句を十余年推敲を重ね完成させたとされる

院側の交差点向かいであり、加舎白雄顕彰会が建立した石碑があります。本格的に俳句を習い始めたのは27歳ごろ江戸日本橋の俳人松露庵鳥明に入門してからで、特に鳥明の師匠鳥酔の感化を受けま

す。俳句は庶民文化と言われますが、当時長野県では俳句をたしなむ人が少なく芭蕉が県下を旅した折もこれを迎える俳人はほとんどいないという状態でした。白雄は

これは白雄の代表作で上田城跡公園入り口の句碑に見る事ができ、今も高校の教科書に取り上げ

飛登恋し火東本し故呂を桜地流

上田を拠点に戸倉・更埴・松代・長野と門人開拓に努め、その門人たちの支えがあつて芭蕉が来遊した姨捨に句碑を建て芭蕉の素晴らしさを広めました。さらに記念集「おもかげ集」を、続いて「田ごとのほる」を出版。その後全国を巡り蕉風俳諧を広めて歩きました。次第にたくさんの弟子が集まり、江戸日本橋に春秋庵を開き門人の指導にあたりました。後世天明中興俳壇の五傑(与謝蕪村など)に白雄の名が残るのはこの時期の活躍があつたからです。

加舎白雄

(加舎白雄顕彰保存会HPより)



られています。たくさんの門人を長野県に残した足跡が各所に見られ、千曲市戸倉坂井家には白雄記念館があり、佐久の倉沢薬師堂には俳額が残されています。その他長野市松代、坂城町にも句碑などがたくさん残されています。さらに白雄二百回忌を記念して加舎白雄顕彰保存会が全国俳句大会を始め、今年も26回目の大会が10月に加舎家の菩提寺でもある上田市大輪寺にて行われました。白雄が果たした信州の地方庶民文化形成の役割は大きく、今でもその流れは豊かに引き継がれています。

参考文献・上田市誌人物編、郷土の俳諧(上田市立博物館編)、俳人加舎白雄と女性門人(島田洋子、清水ゆき子、田中和子著)

「不登校」も成長の証。

「不登校」も成長の過程のひとつ。

私たちはそう捉えて、生徒たちを応援しています。

一人ひとりがおもつ個性を大切に、柔軟な教育スタイルと丁寧なフォローで生徒を笑顔に導いています。

【4つのコース】

進学コース、マンガ・アニメコース
声優・タレントコース、ペット・アニマルコース



<最近の合格実績>【国公立】東京大・京都大・筑波大(医)・東京工業大・東京外語大・千葉大・新潟大・信州大ほか多数
【私立】早稲田大・慶応大・上智大・国際基督教大・東邦大(医)・杏林大(医)・東海大(医)・帝京大(医)・明治大・法政大・青山学院大・中央大・北里大・多摩大ほか多数

学校法人上田煌校学園

さくら国際高等学校 東京校

(旧東京国際学園高等部)

東京都渋谷区代々木 1-43-8

Tel 03-3370-0718

<http://www.tokyo.sakura-kokusai.edu.jp>

理事長・学園長 荒井 裕司 (64期)

苦しい時も参加できる同窓会に

座談会 第55回総会出席の6人

司会 丸山 今日では実行委員期間など三つの期の皆さんが集まっていたいただきました。自己紹介と同窓会とのかかわりを。

西澤(尚) 総会は今年が3回目だった。

櫻井 一期下の後輩から誘われて代表幹事になった。

竹村 今年30歳になったのを機に初めて総会に参加した。私の103期は代表幹事がいなかったもので、同期の大谷君と「2人でやろう」ということになってやらせてもらっている。

戸田 卒業以来ずっと東京。関東同窓会に初めて参加したのは2011年。同期の友人の弟堀内康男さんの講演があると聞いて参加、今年が4回目。それまでずっと出たことはなかったが、出てみるといろんな先輩や後輩とも会うことができると楽しいなと思った。

大谷 思い出に残っているのは上田駅前の再開発が行われていてどんなビルが建つのだろうということになり、市役所に行つてどんなものができるかを聞いて記事にした。生徒会長にも立候補した。

3人立候補してそれなりの騒ぎになったが、選挙は負けてしまった。

副議長をやった。私、トイレ掃除が好きでして。掃除すると「ありがとね」と言ってくれたり、違う階の人がわざわざ来てくれたりしてやりがいがあった。清掃委員長をやつて全校のトイレをきれいにすればよかつたかなと少し反省している。

西澤(澄) 証券会社。1989年ごろ留学でボストンのビジネススクールに入り、そしてNY勤務。ここで同窓会や高校の友達と縁が切れてしまった。当時はインターネットもなく海外に行つてしまうとなかなか連絡が取れなくなる。今は会社に朝6時半について、家に帰るのは午前零時ごろの毎日。50代の人は同じような事情を抱えていると思うので、そういう人たちをどうやって捕まえていくかというのが鍵だと思う。



年ごろ留学でボストンのビジネススクールに入り、そしてNY勤務。ここで同窓会や高校の友達と縁が切れてしまった。当時はインターネットもなく海外に行つてしまうとなかなか連絡が取れなくなる。今は会社に朝6時半について、家に帰るのは午前零時ごろの毎日。50代の人は同じような事情を抱えていると思うので、そういう人たちをどうやって捕まえていくかというのが鍵だと思う。

丸山 総会に出た感想は？

西澤(尚) 今年では実行委員期間ということで準備から参加した。

一体感があって、やっぱり同窓生だなという感じもした。違うクラスの方は高校時代あまり話したことはなかったが、初めての気がしなかつた。



社会に出てからは年齢差があつて、共通の話題は少ないかもしれないと思うが、同じ学

びやで学んだという目に見えない何かがあつて、世代が違つても何か親しみが湧くと感じた。総会の後の飲み会に誘つていただいて、初めて会つた人でも打ち解けることができいい会だった。

竹村 今回初めてで、行くまでほんとに誰も知り合いがない状況だった。懇親会では大谷君を通じて先輩方を紹介してもらつた。皆さん気さくに話してくれて、終わったあとの実行委員期の飲み会にも呼んでいただいた。着いた時は来なくても良かったかと思つたが、終わつてみたら同窓会つていい集まりだなって感じた。

戸田 前回実行委員期間で、上田高校の卒業生でかつ教員だった父と弟と出させていただいた。高校の時は知らなかつた人とも話をし

村君と会えて、同期会がもつと大きくできるようなつたこと。竹村君が知つている人たちと話すことができた。

西澤(澄) 同窓会に出てくる人つていうのはようやく人生が落ち着いたつていうか、自分の生活が充実してる人たちが出てくるんだな。そうでなくて悪戦苦闘している人もいますよね。そういう人たちも引つ張つてこられたら楽しいんだね。高校の時同じ空気を吸つたというようなのを感じてくれれば、悪戦苦闘している人にとつては人生の転機になるのではないか。私も若い時バブルの崩壊でかなり大変だった時期がある。そういう人たちもいると思う。

丸山 同期会の結成状況は？

萩原 79期は、最初に集まつたのが3年前の春。連絡手段はメール。60〜70人にメールして25人集まりました。2回目が今年の1月。そのときは14、5人だけど、半分は新しいメンバーだった。

竹村 年明けに上田で103期の同期会を企画している。いざ動いてみると返信がないなど、人集



めは大変だなと思う。目標は100人。連絡先が分からなく

てもフェイスブックですぐつながら。フェイスブックは流した段階で130人ぐらいは一気に送れていると思う。口コミで広げてもらつている部分については誰に届いて、誰に届いていないかというのが分からない。

丸山 80期は？

櫻井 関東同窓会の期幹事で一回集まろうという事になつていたのですが、仕事の関係で延期になつたりとかしてしまいましたね。幹

土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号
三田ビル3階 (〒105-0001)
TEL 03-3580-8588
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎 (68期)



事会の集まりというところ、総会とかに来たことがある人たちのなかで、他の方の掘り起こしも必要だなと思って。

西澤(尚) 卒業後20年に上田で同級会をやった。25人と結構な人数が集まったが、そのぐらいの年代って仕事が厳しくて、後が続かなかった。

丸山 30代、40代は働き盛りで、難しい。だけど東京に定住している人もいるし、その中に面倒見のいい人がいればちゃんとやってくれるケースが多い。その後、幹事は当番制とかに？

西澤(尚) そこで次期幹事を

座談会出席の皆さん

戸田 由香(79期)野村不動産パトナーズ 高校時代は「帰宅部」
西澤 尚(79期)東京ガス株式会社 手相研究会

西澤 澄雄(79期)三井住友信託

銀行 吹奏楽班

櫻井 規喜(80期)アクサ生命保険

ハンドボール班

大谷 真宙(103期)ダイシン

百貨店 生徒会副議長

竹村 淳一(103期)公認会計士、サッカー班

司会 丸山 暢久副会長(65期)

萩原 貴副幹事長(79期)

決めたつもりだったが、それつきりになってしまった。当番制にすれば継続すると思っていたが…。

櫻井 中心になる人がいて、いつもその人を中心にとすると、続くんです。永久幹事だと、続けし広がるなってことを最近発見。



戸田 関東同窓会があるって、私、出る前は知りませんでした。大阪とか、仙台にもあるんですって？

丸山 長野県内に本部を含めて三つ。北海道、仙台、関西、そして関東。

竹村 全く知らない土地に行くなら、そういったコミュニティがあるってのはありがたいことですよ。会報って、関東に家がある人しか送ってない？

丸山 関東同窓会の名簿にある人約6000人に送っている。

竹村 同期会の際にいろんな方と連絡とっていたら、「あ、そんな冊子があるんだ」という反応の人も結構いた。

丸山 同窓会に対して、こんなことをしてくれたらいいなという意見ありますか？

竹村 総会の講演会で、先輩の方が活躍してる話を聞けるのは、

いいなと思いました。

丸山 皆さんの情報交換はどうやって？

竹村 フェイスブックとか。若い人は今、みんなそっちで見てると思いますし、関東同窓会のフェイスブックっていうの、作ってもいいかもしれませんね。

萩原 初めて総会に出たきっかけは？まだ出てない方を、どういうふうに誘えばいいか参考になると思います。

西澤(尚) 最初のきっかけは実行委員期間にあたって、声を掛けていただいたこと。実際に来ると、いいもの



なので、初めての人のいかに来てもらうか、というところが大事。これはもう、口コミで伝えていくしかないかなと思う。

櫻井 やっぱ「声掛け」は大切なのかも。

竹村 私も、口コミです。声を掛けてきたのは実行委員期間だった

いとこ。それで行ってみようかな、と思ったのがきっかけ。あと、会報に案内が入っていたのも一つの理由。

戸田 クラス幹事から声を掛けてもらって。行って、誰も知らな

い人ばかりだったら嫌だな、と思ったんですけど。

西澤(澄) 私は頻繁に来る萩原さんのメール。「今年は人集めなきゃ」ということで、これはやっぱり、出なきゃいけないなって。メールいただいてなかったら、行かなかった。

丸山 大谷さんは、結構早くから来てくれたよね。



大谷 会報を見て関東同窓会の新年会があるということを知った。同期はいなかったんですけど先輩と話をしながら楽しかったので次からは出席している。あと、

会員増に関しては、今年卒業する人たちの連絡先を押さえて、早々にイベントをやって、関東同窓会や本部に対して、かわりをもってもらおうのが一番いいんじゃないかと思う。若い人と年配の方では興味を持っているものが違うと思うので若い人向けに、会報を分けようか。

丸山 最後に一言。若い人にも役員をやってほしい。関東同窓会は、他と比べて非常に活動が盛ん。皆さん、これから他の人も誘って総会に出ていただきたい。よろしくお願ひします。

真田丸の年は終わった！しかし



今 再会の時！ 第75期 再開の年！

2017年は同窓会当番年、母校伝統を皆で受け継ごう！

同期会を下記にて開催します

2月4日(土) 17:00～ 新橋 正味亭 尾和
お電話ください！一之瀬康利 090-7345-3496

小泉 行徳 090-8586-9108

大工原 潤 080-3129-6736

Email d-koizumi@watch.ocn.ne.jp

ひと・技術・豊かな未来。



TOSYSグループは

人間とテクノロジーが より高度に融け合う
豊かな未来づくりに貢献します。

69期 小川 亮夫

URL <http://www.tosys.co.jp>

桐野作人氏招き講演会

「薩摩から見た赤松小三郎」

一般含め93人参加

赤松小三郎研究会は10月15日、文京区民センターで歴史作家の桐野作人氏による講演会「薩摩から見た赤松小三郎」を開いた。参加者は93人（同窓生44人、一般49人）で大盛況であった。

〈桐野氏講演要旨（一部）〉

「新発見の赤松小三郎建白書の写しの意義を中心に」

桐野氏は昨年、新たに赤松建白書（いわゆる「建白七策」）の写しを盛岡藩京都藩邸の公用日記『慶応丁卯雜記』慶応3（1867）年11月26日条（もりおか歴史文化館収蔵）から発見した。内容は同時期の一次史料として既に知られている以下3点（1）「続再夢紀事六」（越前藩松平家の公用日記）慶応3年5月17日条（2）「鹿児島史料 忠義公史料 四」426（3）「鹿児島史料 玉里島津家史料五」1658と同じである。

重要な点は今回の盛岡藩公用日記の中で「卯五月幕府え建白」と付記されていることである。つまり、これまで建白書は越前と薩摩の2藩だけに提出されていたと思われていたが「幕府へも提出され

赤松小三郎研究会

ていた」ということ。これを受けて赤松建白書の提出のタイミングやその目的を、当時の時代背景と合わせてまとめると次のようになる。

提出時期の慶応3年5月（越前藩前藩主・松平春嶽の日記「京華日録」によると春嶽宛ては同年5月17日、薩摩藩や幕府宛てもその前後と思われる）は、薩摩藩（島津久光）の呼び掛けで越前藩（松平春嶽、土佐藩（山内容堂）、宇和島藩（伊達宗城）の四侯が京都に集結し、いわゆる四侯会議で（1）長州寛典（長州への寛大な処分と藩主毛利父子の地位保全など）を実現したのち（2）兵庫開港を幕府ではなく朝廷の名において実施すべき、ことを確認した時期である。



講演する桐野作人氏



桐野氏の講演に耳を傾ける参加者（文京区民センター）

四侯は同年5月21日、二条城で將軍徳川慶喜と会見し、慶喜は翌22日に参内している。赤松はこうした四侯や慶喜の動向から「天幕御合体」や「諸藩一和」が実現する好機と見て幕府や薩摩・越前兩藩へ建白したに違いない。

しかし、結果として四侯の要求は慶喜によって骨抜きにされ、両者の関係は悪化し、薩摩は長州との倒幕路線に舵を切ることになる。赤松もほどなく建白を実現できないうちに状況が悟ったようだが、同年9月3日に暗殺される直前まであきらめずに「幕薩一和」のために奔走した。

（今回紹介できなかった残りの講演会要旨については、関東同窓会ホームページの「赤松小三郎研究会」を参照願います）

（赤松小三郎研究会事務局）

赤松小三郎研究会の活動報告

赤松小三郎研究会は2013年8月発足以来偶数月の第3火曜日に集まり、毎回十数名の参加者が自発的に赤松小三郎に関連するテーマを決めて発表しています。（詳細は関東同窓会ホームページの「赤松小三郎研究会」をご覧ください）

○第17回（2016・4・24）

宮原安春さん（58期）作成資料「赤松小三郎の事績の公平な評価と今後の研究テーマなどについて」を参考資料に、参加者による意見交換を行った。

○第18回（2016・6・21）

①滝澤進さん（61期）による「赤松小三郎研究会の研究課題等について」の発表②関良基さん（86期）による「赤松小三郎の「御改正口上（建白七策）」と薩土盟約」の発表。

○第19回（2016・8・9）

滝澤進さんによる『赤松小三郎私記（滝沢昌忠著・48期）』等の資料に基づき確認された事項と新たな課題」の発表。

（赤松小三郎研究会事務局）

研究会は

偶数月の第3火曜日

に開催しています

新たな教育システムの創造 松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社) ISM 教育総合研究所

全国の児童・生徒が自転車事故の加害者となった場合の「こころの保険」

まつみこうとうがくえん **松実高等学園**

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15
http://www.matsumi-gakuen.net

理事長 松井 石根（60期） 学園長 松井 寛



やまびこ句会

遅い手習い

「俳句」と聞いたとき、私の中で「ああわが家の孫たちに一歩近づくと縁かな」という思いが湧き上がりました。松山に遠く離れて暮らす孫たちは、「小学1年から子規の句を暗唱している」と聞いておりましたので、遅い手習いではありませんが、思わず手を出してしまいました。

俳句の奥深さに驚き、自分の稚拙さに恥じ入りながら、初心者ではありますが、俳句の世界に新しい発見を楽しめるような境地に達したいと考えております。

季語を大切に作る俳句の世界ですが、季語と実生活の季節とに温度差を感じることもあり、多少の戸惑いを覚えることもあります。ひとつの情景や感慨を、たった17文字に凝縮して言い表してしまおう俳句は他に類が無く、その表現力に感嘆しております。

児玉先生には、手取り足取りご指導いただき、ご迷惑をお掛けしておりますが、今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

松井由美 (62期)

やまびこ句会 (4月~9月)

- 母の許去り難かりし花林檎 (一江)
- みすずかる信濃の秘湯風薫る (清助)
- 水田は北斗を映し蛙かな (奉男)
- 蛇笏賞受賞の恩師春日中 (正佳)
- 朝日浴び筑波へ続く稲穂かな (貴美)
- 体操の掛け声消えて秋の空 (太郎)
- 古民家の軒覆ひたる牽牛花 (隆治)
- 葛切の喉元滑る祇園かな (正雄)
- 鉄塔のはるか彼方に夏の雲 (平六)
- 甲斐の國晴れて全山蝉の声 (前歩)
- この旅の締めは津軽に花筏 (孝昭)
- この丘に月は見えねど菊の杯 (芙紗)
- 露天の湯音聞こえねど遠花火 (由美)

俳句「真田丸紀行」

内堀隆久 (62期・御代田町)

本会報がお手元に届く頃、大河ドラマ「真田丸」は終了してしまいましたが、多くの同窓生がこのドラマを楽しんだことでしょうか。私は現在御代田に居住しています。平成26年夏から28年春まで2年をかけた「真田丸」への思いと重なると思いますが、

- 薬師堂：佐野市(天伏の別れ)
- 斑猫の飛びつ振向く分れ橋 (はんみょう)
- 御屋敷公園：上田市(昌幸居館跡・つつじの名所)
- 活花と投げて躑躅の丘一つ (いづみ)
- 砥石城跡：上田市(なめんなよの立札)
- 何程と嘗めあて汗の立往生 (いづみ)
- 上田城：真田神社(昌幸・信繁を主神に歴代藩主祀る)
- 不落城なりと縁起の受験生 (いづみ)
- 上田城：東虎口櫓門と真田石
- 飛花落花輪廻動しぬ真田石 (いづみ)
- 上田城：千本桜祭(花の雲より降る如く)
- 箭眼に桜吹雪のほか見え (いづみ)
- 上田藩主居館跡：現上田高校
- 下駄音の昭和は遠き花の門 (いづみ)
- 高野山：蓮華定院(昌幸・信繁配流寺・六文銭の寺灯紋)
- 深山霧抜けて寺灯の明り道 (いづみ)
- 九度山：善名称院(真田庵)
- 語部の黙して仰ぐ柿の秋 (いづみ)
- 大阪城：入城(四百年祭)
- 敷紅葉踏む渾身の武者震ひ (いづみ)
- 大阪天王寺区：心眼寺
- 武士といふ白一本の仕立菊 (いづみ)
- 大阪天王寺区：茶臼山(夏陣・信繁の赤備え)
- 紅葉山鬼神の如く迫りたり (いづみ)
- 大阪天王寺区：安居神社(さなだ松・信繁終焉の地)
- 色変へぬ松や浪速の最層筋 (いづみ)



産業用省力・専用機械の設計・製作
多種多様な業界に対応致します



果実の種抜き機

＜当社の特長＞

1. 設計・製作・制御・設置までの一貫受注システム
2. 加工設備が豊富
3. 試作開発対応
4. 提案課題が豊富

株式会社 ジェー・ピー・イー
長野県上田市富士山字鴻ノ巣2329-1
代表取締役社長 工藤 武和(第67期卒)
TEL 0268-38-3801
URL <http://www.jpe2000.co.jp>

自然の風味で健康いきいき。



安心にまっすぐ。

グリーンマークとは、発色剤・着色料・保存料・リン酸塩を使用しないでつくられた信州ハムのハム・ソーセージに付けられるシンボルマークです。



信州ハム株式会社

信州上田の地で製品をつくり続けています

取締役副会長 中村 幸男 (第65期)

〒386-8686 長野県上田市下塩尻950
TEL 0268-26-8686 FAX 0268-26-8611

日本橋にゴール

東海道53次の旅が完結

2016年4月16日、三島駅から東海道最大の難所、箱根峠へ。所々に石畳と松並木が整備され歩きやすい。途中、山中城跡を見学。山中城は畝堀と障子堀を巡らせた

になる。大山道への別れ道の先が藤沢宿。藤沢宿は、遊行寺の門前町として発展。江の島、鎌倉、大山参詣の足場としてもにぎわった。

広大な城であったが、豊臣軍の攻撃を受けて半日で落城してしまった。箱根峠から少し下った芦ノ湖畔が箱根宿。かつては本陣が6軒もあったが、今は無い。

9月24日、藤沢駅から。義経首洗い井戸などを見学して遊行寺へ。降り出した雨の中を歩き、戸塚宿にたどり着く。翌朝、保土ヶ谷宿を目指す。急な上りの品濃坂、焼餅坂の先が武相国境。この先の権太坂は江戸から来ると険しい上

を転ばないように注意して下り、小田原宿へ。八ツ棟造りの外郎家で一休みして解散。

10月15日、東神奈川駅から川崎宿へ向かう。途中、生麦事件の跡を通り、川崎宿に入る。本陣な

6月4日、耐震改修工事が終わったばかりの小田原城を見学した後、小田原から酒匂川の橋を渡る。東海道松並木が所々に残る道を歩いて、西行にちなんだ「嶋立庵」前を通り、日本陣の宿にたどり着く。

10月15日、東神奈川駅から川崎宿へ向かう。途中、生麦事件の跡を通り、川崎宿に入る。本陣な

翌日、しとしとと降る雨の中、化粧坂を歩いて平塚宿へ。相模川に架かる馬入橋を渡り、茅ヶ崎市へ。茅ヶ崎松並木は両側に松並木が残り、街道歩きの気分

り道の難所。私たちは、下り道なので良かった。保土ヶ谷宿には本陣の通用門が残っていた。保土ヶ谷宿を過ぎると、急な上り坂。坂の上から少し下った所に、幕末に幕府が横浜周辺の警備のために設けた関門の跡がある。ここから神奈川宿。幕末、横浜開港後は欧米列強の領事館が置かれ、神奈川が長崎に代わる国際都市として知られるようになったが、トラブルも多かったようである。

10月16日、日本橋に到着。東海道53次の旅が完結

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿靈廟模写」の精巧な匠の技に感服した。

10月16日、日本橋に到着。東海道53次の旅が完結

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿靈廟模写」の精巧な匠の技に感服した。



10月16日 日本橋に到着 東海道53次の旅が完結

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿靈廟模写」の精巧な匠の技に感服した。

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿靈廟模写」の精巧な匠の技に感服した。

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿靈廟模写」の精巧な匠の技に感服した。

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿靈廟模写」の精巧な匠の技に感服した。

女性同窓生の会を開催します

本年度も女性同窓生の会を開催します。今回は、友家しづささんによる「しづの源氏語り」をお楽しみいただきます。その後、会食と懇談です。

日時・2月26日(日)
12:00~16:00

お申し込みは池田有美子まで
yxy@mub.biglobe.ne.jp

土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男 (69期)

〒102-0073
千代田区九段北1-13-13
九段下東急サクラビル4階・8階
TEL03(3512)0211
FAX03(3512)0214

町で宿泊。

鈴が森刑場跡には、礎(はりげ)に使用された台石などが並び、長くはいられない雰囲気。立会川を渡り、品川宿に入る。通りは、カラ舗装がしてあつて分かりやすい。東海道の江戸の玄関口で旅人の滞在が多く大変にぎわったが、往時の建物は残っていない。

新橋、銀座を通り、2013年10月に草津宿を出発した今回の旅は18回で日本橋にゴール。64期の友人たちが迎えに来て感無量であった。

【追加の旅】

徳川幕府が管理していた東海道は、大津から京には向かわずに、伏見、淀、枚方、守口を経て大阪に向かう57次であったとされ、11月19日、21日、追加4次と大阪城、心眼寺、安居神社、茶臼山など真田丸関連史跡を巡った。

清水計枝(64期)

天然酵母田舎パンの店

ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら
ぜひ立ち寄ってください

オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店：渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
信州上田店：上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866





今 高校オーケストラが熱い

寺島知恵子 (58期)

母校室内楽班と吹奏楽班選抜メンバーが、第23回全国高等学校オーケストラフェスタに参加します。

1月7日、文京シビックホールに彼らの演奏する「真田丸メインテーマ曲」を聴きに行きませんか。

昨年私は同窓生十数人と一緒に聴き、高校オケの演奏と充実した活動ぶりに感銘を受けました。小規模なアンサンブルから150人を超す大編成オケまで、全国46校が10分間のステージで練習の成果を披露。4千人余りの参加者から特別選抜オケも編成され、そこでコンサートマスターを務めるなど後輩たちが大活躍していました。

私は上田北小学校の音楽室で初めてバイオリンを手にして以来、

下手でもやめないアマプレーヤーです。1959年AFS生として留学中にペンシルベニア州高校生オケを初体験、以来機会あれば合奏を楽しんできて、今は母校室内楽班を応援しているのですが、今の日本の高校生オケ活動の水準、充実ぶりは世界でも類を見ないのではないかと思いい調べてみました。

た。

ドイツ、オーストリアでは、プロを目指す高校生たちの高水準のオケが毎年編成され最後にはベルリンフィルと協演するなど注目を集めている反面、ごく普通の音楽好きの生徒には個人的な合奏チャンスしかないとのこと。かつて世界のクラシック音楽のサポーターであったアメリカは、州ごとの高校オケもほとんど消滅し、コーラスやミュージカルに熱心な高校が集まる催しがあることが分かりました。フランス、イタリアなどでは高校でそのような活動をするなど考えられない状況でした。

例えば日本では、戦後何も無かった時代に音楽好きの大人たちかともした小さな火種から、各地の小中学校の吹奏楽が育ち、弦楽も才能教育などの地道な指導者の努力で多くの人材が育っています。



2017年3月19日(日)に上田市サントミュージゼで室内楽班第20回定期演奏会が開かれる。13時半開場、14時開演。(写真は2016年1月の第22回全国高等学校オーケストラフェスタで演奏する上田高校室内楽班 文京シビックホール大ホール)

わが室内楽班顧問の柳澤哲先生も松本才能教室育ち、5年前日本史の先生として赴任されて以来、95%が初心者で班員たちを指導してこられました。松尾祭で2年余りの練習の成果をかけて難曲に挑む姿、その熱演はいつも聴く人々の感動を呼んでいます。

10月2日に第2回吹奏楽を楽しむ会が上田市文化会館ホールで開催されました。2014年10月、上田高校吹奏楽団OB会設立記念演奏会が上田市民会館であり、その後設立総会が上田高校同窓会館で開催され、名称を「松奏会」として、会長に58期の百瀬和紀氏(元N響首席ティンパニー奏者)が選出されました。15年10月に第1回吹奏楽を楽しむ会が上田創造館文化ホールで開催され、今回第2回の開催になりました。

参加者はOB・OG 49人で、現役生48人も加わり、OB・OGの演奏、現役生の演奏、合同演奏という構成で、聴衆200人強の盛大な会になりました。私は3回の演奏会にフルート・ピッコロで参加して、懐かしい方々にお会いしたり、在学中に演奏した懐かしい曲などを演奏したりで、文字通りの楽しい会でした。

松奏会の設立や総会・吹奏楽を

第2回吹奏楽を楽しむ会 松奏会 OB・OGに現役も参加 聴衆200人



客席まであふれだして演奏する松奏会メンバーと現役吹奏楽班員

榎本美智子(72期)

楽しむ会の開催に力を尽くしてくださった方々に感謝しています。それにとどまらず、会報「松奏」を発行して演奏会や総会の詳細な記録を残してください。次回以降もぜひ参加したいと思います。

仏像彫刻は新たな楽しみ

黒田英臣（69期）

高校卒業間際の1971年2月9日に母が亡くなった。高校在学期間はまさに母のがんと闘病生活と重なる。大学進学後は法曹の道を目指したが母の喪失感から仏教の勉強も始め斯界の先生に師事して仏教を学んだ。卒業後は特許業界に入り実務に明け暮れたが、30歳直前に父と兄を半年のうちに相次いで亡くし、再び仏教を学ぶと共に仏像にも興味を持つようになった。仕事に励みつつ仏教や仏像の本を買い込んで知識だけを蓄えた。

還暦を過ぎ定年を意識したときに仕事を離れたら自分には何も残らないと痛感し、若い頃から興味があった仏教を再度学びなが



作品を前にする黒田さん

でも、自分一人では小さな仏像一つ彫ることができていないことに気が付いて、基礎から学んで独りでも仏像を彫れるようにすることが大切であることに気が付いた。半年ほど基礎を学ぶ過程に進み自分で彫刻刀の柄を制作し

ら、仏像彫刻に挑戦することにした。2年ほど仏像彫刻の教室に通い仏像を彫るうちに、仏像彫刻の魅力に引き込まれた。仏像彫刻は、1300年以上の歴史があるため、仏像の形式はすでに確立されているが、細部には彫る人の個性が出て、完成した仏像には十人十色の味がある。趣味の教室で周囲が騒がしいときには、若い頃に覚えた般若心経を唱えつつ気持ちを集中すると時間を忘れることが何回かあった。60代半ばになって何かに没頭できる時間を持つことは本当に幸せなことだと思いつつた。

それと同時に、仏像彫刻教室に何年も、十数年も通っている人

て、刃も自分で研ぐことを覚え30本ほどの彫刻刀を完成させた。また、仏像も一から自分独りで制作できるようになった。まだ小さな仏像を4体ほどしか完成していないが、木彫の仏像を独りで彫れるところまでできたので、1年に1体ずつでも完成させることを目標にして日々精進していきたいと思っている。

ウズベキスタンで教壇に

塩崎良次（66期）

JICAから中央アジアのウズベキスタン共和国でのお話を紹介いただき、2015年10月から17年10月の2年間の予定でシニア海外ボランティアとして派遣され首都タシケント市で活動しています。

綿花栽培や天然資源（ガス、ウラン、金など）が主要産業のウズベキスタンは、市場経済化への移行過程にあり経営管理関連の人材育成が急務とされています。現在

ビジネス大学院で日本企業でのマーケティング活動の経験を紹介しています。教壇に立つのはこの年になって初めてで、英語の資料作りや講義と毎日格闘しています。



黒田さん自作の彫刻刀

大学院生には英語で講義しますが、ほかに国営企業の幹部の方や官僚の方にセミナーをやります。国営企業の方は40歳から50歳代で、この年代の方はウズベキスタン語よりロシア語が得意です。セミナー用の資料のロシア語への翻訳や通訳は現地の方が手伝ってくれ、支援に行ったつもりがいろいろ助けられています。

ウズベキスタンは、その昔アレクサンダー大王から始まって、チンギスハン、アミール・ティムールそしてソ連と多くの勢力や国によって支配が繰り返され、1991年にソ連の解体時に独立し、ようやく自らの国境が確定しました。GDPは決して高くはあ

りませんが、皆さん穏やかで幸せそうに暮らしています。雨はあまり降りませんが各地のオアシス都市には多くの世界遺産があります。首都タシケントは地下鉄もある人口200万人を超える都市で、ロシア風の静かなきれいな街です。

二重内陸国（二つの国を越えないと海に出られない国）のため海産物がほとんど手に入らないのは残念ですが、野菜、果物や肉類（豚肉以外）などは豊富で、物価も日本の3分の1〜4分の1で快適に暮らしています。日本との関係はまだまだ深くありませんが非常に親日的な国です。地図の上でシルクロードの国ウズベキスタンを一度探してみてください。



ビジネス大学院で講義する塩崎さん



上田高校 NOW



2学年は9月12、13日と1泊2日で首都圏フィールドワークに行きました。グローバルスタディⅡの一環で、「課題研究の参考として、また将来の学問研究のため、大学・研究機関・企業・専門施設で研修をし、探究心と発信力を養う」という目的のもと、本年度初めて実施されたものです。

首都圏の各大学を訪問して模擬講義や実験に参加し、自分の課題研究を発表して教授やゼミ生の方々から貴重なアドバイスをいただきました。フィリピン大使館や最高裁判所、イスラム教のモスクなど、なかなか行くことのできな

2学年担当 鈴木 綾



早稲田大学文化構想学部…都心が見渡せる高層16階でのプレゼンテーション

11月末からの台湾研修旅行でも、さらに多くのものを吸収し、発信し、力を高め合う集団となっ

ていってほしいです。

2年 首都圏でフィールドワーク 大学の模擬講義や実験に参加

い場所を興味深く見学し、取材を行いました。

また、防災復興をテーマに福島県へ行ったAコースを除き、残りの9コースは全て国立オリンピック記念青少年総合センターに宿泊しました。夕食後には生徒全体で1日目の振り返りを行い、次の日のプレゼンや発表に向けて互いに

見合いながら準備する熱心な姿が見られました。

11月未からの台湾研修旅行でも、さらに多くのものを吸収し、発信し、力を高め合う集団となっ

ていってほしいです。

見合いながら準備する熱心な姿が見られました。

11月未からの台湾研修旅行でも、さらに多くのものを吸収し、発信し、力を高め合う集団となっ

2学年担当 鈴木 綾

己と向き合う3日間

黒姫高原で学習合宿

1年

10月18日から2泊3日の日程で黒姫高原にて1年生の学習合宿を行いました。日々、スマートフォンを手放さない今どきの高校生が一切の電子機器と離れて3日間、約20時間の自学自習に挑みました。冒頭で、上田予備学校の茅野崇先生に「入学して半年、今の心構

え」をご講演いただき、以降は、食事、風呂、睡眠以外は学習時間という環境で各々の計画のもと、黙々と自学自習に打ち込みました。職員が待機する質問コーナーや、苦手克服のための自由参加講座も大盛況で、学習に対する熱意が感じられました。終了後のアンケートでは「スマホを断つと学習の質が上がることを実感した」「長時間の学習もできる、というのは自信になった」という学習に対する再認識の他に、「友情が深まった」などの声も寄せられました。スマホ断ちはさまざまな効用があったようです。この経験を一時のものにせず、ぜひ毎日の生活に生かしてほしいと思います。

1学年担当 宮下美和

試験を乗り越えろ115期生！ 受験シーズン真つただ中

3年

115期生は、8月からの3カ月間に全員模試6回、希望者模試2回に加え、総合試験、一斉考查2回とまさにすさまじい試験の嵐の中、過酷で苦しい試験に耐えています。9月からは理社の放課後補習も始まり、朝夕、学習室や教室で黙々と勉学に励む生徒たちもかなりの数に上ります。研究室へ質問に来る生徒も増えました。この光景は、本校の例年の3年生の姿であり、この時期から、入試直前まで生徒たちはぐんぐんと力をつけていきます。

3学年主任 山崎 隆

新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会前会長
 弁護士 村越 進 (67期)
 東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号
 岩波書店アネックス8階 〒101-0051
 電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361
<http://www.shin-chiyoda.jp/>



「松尾夏ノ陣」

成功目指し全校で団結を



古城の門も松尾祭の飾り付け

2016年7月1日。第59回

松尾祭が開幕しました。テーマは、「松尾夏ノ陣」心に刻め、年に一度の「おおいぐさ」大戦。松尾祭を一つの戦に見立て、成功という名の勝利を目指し、全校で団結していきましょう。思いが込められています。当日の様子を少しご紹介します。



アンデパンダンのグランプリ「ホグワーツ城」

建物の構造や石垣の質感、さらには内装の細かいデザインまで、ク

ラスのこだわりと情熱を感じさせる見事な作品でした。また、今年にはNHK大河ドラマ「真田丸」をイメージした装飾が校内を飾りました。全校制作もその一つ。今年にはエコキャップを使ったモザイクアートに挑戦し、ポップでカラフルな六文銭を完成させました。班活・有志による展示・発表・企画も見どころ満載！定時制の屋台、書道班によるパフォーマンス、生徒会お化け屋敷、現代音楽班を中心に作成したオリジナルテーマソングなど、多くの来場者の皆さまに楽しんでいただけたと思います。

す。

今一番思うのは、祭りに関わった全ての人たちへの感謝です。この半年間は僕にとって、仲間たちとのかけがえのない思い出となりました。

松尾祭実行委員長
高見澤真央（3年）

松尾祭

よりよい伝統を次の世代に

生徒会長 落合光平（2年）

いつも私たち上田高校生を温かく見守り、支えていただきありがとうございます。

このたび上田高校116期生徒会長になりました落合光平です。歴代の先輩方から大切に受け継がれてきたこの上田高校を、生徒会長として引き継ぐことができ、大変光栄に感じています。

影響で、テレビやラジオなどでの上田高校の露出が増えてきました。その影響なのか、最近では休日になると上田高校に観光で来て下さる方が多くなってきました。上田高校生のシンボルであり、誇りである古城の門やお堀を多くの方に見ていただけることに、うれしさを感じています。その古城の門に恥じないよう、この学校の伝

統をより良いものにして次の世代へと引き継いでいきたいと思います。

2017年も、伝統ある松尾祭を実行委員長をはじめとする仲間たちと協力して、さらに盛り上げていきたいと思えます。ぜひ一般公開にもお越しください。

まだ多少の不安はありますが、常に前向きな気持ちを持ち全力で務めていく所存です。これからも上田高校への熱いご支援をよろしくお願い致します。



エコキャップで作った六文銭

手織り、裂織、染色、藍染 工房

イサカ絹美堂

猪坂周一（67期）

伊勢崎市宮前町266-1
TEL 0270-25-0020
FAX 0270-25-0509



槍ヶ岳2泊3日 現在の最高到達点

山岳班



槍ヶ岳テント場付近の夕焼け (2015年8月)

初の北信越大会出場

新たな歴史 軟式野球班

軟式野球班は、本年度初めて県大会を突破し、北信越大会に出場しました。

春は県大会を準優勝で突破し、富山県で開催の北信越大会に出場しました。北信越大会では、決勝戦まで勝ち進みました。決勝戦では同じ長野県代表の上田西高校に敗れたものの、準優勝という結果と多くの経験をえました。

その経験を生かすべく臨んだ夏の大会でも、県大会で長野県2校の代表校の座を勝ち取り、北信

越大会へと駒を進めました。新潟県で開催の夏の北信越大会では、初戦から苦しみながらも勝ち上がり、決勝戦は春と同じ上田西高校との対戦でした。結果は、再び敗れ、惜しくも全国大会出場を逃しました。

目標は達成できませんでしたが、軟式野球班は新たな歴史を刻むことができました。この結果に満足せず、さらなる高みを目指して努力していきたいと思えます。

軟式野球班2年 片桐麻衣



長野大会代表決定戦 滝澤投手の力投

山岳班では、毎月1、2回のペースで多くの山に登りました。活動は日帰りの里山登山が中心ですが、1、2泊の登山や県大会、北信越大会にも出場しました。大会は競技ではありませんが、安全に登山するための知識や行動を学ぶ、という面が強く、とてもよい経験ができました。

3年間で登った多くの山の中で特に印象深いのは、2年生の8月に2泊3日で登った槍ヶ岳です。いつもより重い荷物を担ぎながら長い時間歩き大変でした。しかし、仲間と励まし合いながら頂上まで登ることができ、今思えば楽しい思い出です。標高3、180m、日本で一番目に高い場所が私たちの現在の最高到達点です。

これからも高みを目指し、登山に関する多くの知識を学び、いろいろな経験をしていきたいと思っています。

山岳班班長 淀 志織 (3年)

上田高校在校生の皆さんへ ～卒業したら地区同窓会に～ 全国各地に支部や地区同窓会

皆さんは今後卒業して、同窓会に加入することになりますが、大学進学などでふるさとを後にされる方も多いためです。同窓会とは別に、各地区(長野、中南信、北海道、仙台、関東、関西)に支部や地区同窓会があります。

支部や地区同窓会では、総会や新年会のほか独自の講演会や歴史探索訪問、アトラクションなどを開催しており、参加することで新しい土地での人脈づくり、地域文化の吸収に役立つことでしょう。イベントなどに参加して、先輩や仲間との「ネットワーク」づくりにお役立てください。

皆さんが引越したら新しい住所を上田の同窓会本部と最寄りの支部、地区同窓会にお知らせください。将来転勤や結婚などで転居された際も同様に支部・地区同窓会へも連絡を忘れずをお願いします。

東京とその周辺に引っ越された方は関東同窓会に参加してください。年に2回、同窓生の近況などが載った会報「うえだ」をお届けして、総会、新年会などのイベントもお知らせします。

関東同窓会の連絡先は

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14

日本橋KNビル4F TEL: 03-5201-3979です。

関東同窓会HPの「同窓会への連絡」をご利用ください。



1年遅れの 卒業60周年 53期

1955年上田松尾高校卒業の53期生は、2015年春が卒業60周年であったが、大河ドラマ「真田丸」の放映に合わせて開催中の「信州上田・真田丸大河ドラマ館」見学を組み入れることとし、1年遅れの5月18日、記念行事を上田地区で開催した。

校門前で記念撮影後、城内に移り大河ドラマ館を見学。各種公演や母校100周年記念コンサートなどでも親しまれた旧市民会館は「大河ドラマ館」の展示終了後、解体されることである。この



上田松尾53期 60周年記念 平成28年5月18日

後、城下の広場に下りて、10年前卒業50年記念行事として植樹した桜の生育を確認しバスで上山田へ移動した。

圓山荘での総会には、関西、関東からの参加者を含め、校門前の記念撮影参加者と一部入れ替わって31人(延べ32人)が参加。

冒頭、笠原一洋53期会会長(元同窓会理事長)が「真田丸の放映を待つて1年延期したことにより、病状悪化や鬼籍に入る方も出るなど出席者がやや寂しくなりました。一方、関係者の協力を得て、NHKテレビで『義心のあとは今もなほ、松尾が丘の花と咲く』と、真田の義心を引き継ぐユニークな校歌が斉唱されるシーンの全国放映が実現した年であった。一高校の校歌であり、異例のことと思う」などのあいさつがあった。総会はやがて旧交を温める会場に変わり、夜が更けていった。

須田武久(53期)

司法書士事務所
リーガルオフィス白金
司法書士 飯田 茂幸(90期)

〒108-0072 東京都港区白金1-25-13
TEL 03-6277-1340
FAX 03-6277-1060

五色(五四期)の 旗のたなびきて： 卒業60周年記念大会 54期

いやはや、遙けくも来つるものは。

1956年に上田松尾高校を卒業した54期生は、ことし卒業60年を迎え6月6、7日エクシブ軽井沢で記念大会を開催した。参加者は会員75人、同伴者6人の計81人が集まった。

記念撮影の後、小林弓右司が開会を宣言、全員参加の校歌斉唱を皮切りに、中澤賢先導による物語者への黙とうに続き、小山盛夫・大会実行委員長、倉澤隆平・五四期会々長、馬場武彦・関東五四期会代表世話人からそれぞれあいさつがあり、山口正義・統括責任者から開会までの経過報告があった。総合司会は中村忠勝・元大手ホテル総支配人が担当した。

記念イベントは、女流講師・神田蘭さんの独演会とし、NHK大河ドラマ放映で話題沸騰中の「真田信繁を大いに語ってもらった。美声の名調子は笑いあり涙ありの感動のひと時であった。神田蘭独演会については62期の松井由美さんのご尽力があったことを付記したい。



54期卒業60周年記念大会

村延魚が音頭をとり、石井光春のハーモニカ伴奏で全員が寮歌・凱歌を歌って閉会となった。

2日目には「ゴルフコンペ」と「こもろ浪漫散歩」が企画され、「こもろ浪漫散歩」は懐古園、藤村記念館、小山敬三美術館・記念館を巡って草笛の実演を聴くなど、滴るような緑の中、ロマンあふれる散策となった。改めて、周到なる準備をしてくれた小山盛夫夫妻とマイクロボスを配車してくれた清水道美・和泉屋旅館主に謝意を表したい。(文中同期生は敬称略)

香掛文哉(54期)

祝賀会までのリフレッシュタイムとして、「世界一受けたい授業」などの出演でおなじみの馬場雄二・ヴィジュアルデザイナーから「世界一ボケないミニ講座」の講義を受けた。

総会が終了し、真田幸隆夫妻・昌幸の墓を祭る長谷寺の宮下博一住職が音頭をとって乾杯、祝賀会が開宴した。エクシブ自慢のフランス料理が次々とテーブルに運ばれ、紅白のワイングラスを傾けながら舌鼓を打った。テーブルごとの指定席もいつしか自由席となり、旧交を叙して話は尽きなかったが、最後に、旧制高校衣装の藤

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を
ウエマツヤ
別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場 HEART THEATER
社長 倉沢 章 常務 倉沢 裕 (69期)
信州/別所温泉・政府登録国際観光旅館
〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地
TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501



関西真田丸紀行

ゆかりの地巡る3日間

62期

今年の62期親睦旅行は2泊3日（10月27日～29日）で関西地区の真田丸ゆかりの地巡り。夫婦同伴6組を含む総勢22人参加。

新大阪駅に集合し、まず大坂冬の陣の中心地「真田丸」に向かう。周りは予想通り高低差、坂道が多く、いかにも深い空堀を想起させる地形だ。この高台に数千人の赤備えの真田軍、旗指物が勇壮に翻ったと思うと、豪気勇猛。さぞ軍勢の士気が高揚したであろうと想像に難くない。次に幸村像がある三光神社を経て、幸村、大助の菩提寺心願寺を訪ね参拝する。



真田丸のあった大阪城をバックに

次に夏の陣の激戦地茶臼山へ。家康をあと一歩まで追い詰めたが、霧のため果たせなかった霧降の松がある一心寺へ。安居神社は幸村の終焉の地。幸村最後の姿の銅像は若く見える。次に古墳の跡といわれる茶臼山へ。ここから幸村ははるか大坂城をどんな思いで眺めただろうと思うと、万感胸に迫るものがある。

初日の宿は道頓堀沿い。関西在住の仲間3人が加わり宴会。当然校歌、凱歌の後、もし家康の首を取っていたら上げていただろう勝どき「エイエイオー！」を全員で三唱し最高の盛り上がり。これで幸村、大助そろって、われわれ後輩の手で凱旋できたと納得した次第。

2日目は九度山、昌幸、幸村蟄居の真田庵などを訪ねて高野山に向かう。うっそうとした杉木立の奥の院、金剛峯寺に参拝。そして宿坊蓮華定院へ。真田ゆかりの寺とあって数々のお宝拝見。座禅と貴重な説法を聞いた後、精進料理を頂く。意外にも欧米人の宿泊者多く驚き。

翌朝は早朝のお勤めに参加。暗い堂内に密教の読経が合唱のごとく響き渡り、まさに心が洗われ脱皮した思いになった。たぶん昌幸、

幸村もこのお経を聞きその人生を振り返り、今後の決意を固めたに相違ない。

今年は真田丸ブーム。真田魂は愛と不屈の精神、日本人の心に響く。そして上田のシンボルとなり、後世に残してくれた遺産は計り知れない。感謝してもしきれないといづくづく思う。

西澤邦宣（62期）

卒業50年

記念誌DVDも

65期

65期は、1967年3月上田高校を卒業して50年を迎え、記念同期会を開催した。9月17日（土）、上田「香青軒」にインドと中国在住者も含め各地から過去最多の128人が参集した。女性の参加は11人。

受付では1年半かけて作られた記念誌DVDが手渡され、会場のスクリーンには記念誌のスライドショーが校歌をバックに流れた。広い宴会場にはクラスごとに15の円卓が並び壮観である。

午後3時すぎ開宴。冒頭に代表幹事の布施修一郎からのあいさつがあり、母校への寄付を目的とした記念募金は目標まであと一歩というところまで来ているのでさら



上田高校65期 卒後50周年記念同期会

2016年9月17日

なる協力と呼び掛ける。

懇親会は、元生徒会長の牧野泰晴の乾杯発声でスタート。宴たけなわ、騒がしい中、クラスごとに全員が登壇。クラス代表による一言とメンバー紹介そして記念撮影。どうしてもしゃべりたい人が出てきて予定時間がオーバーしていく。現在活動中の七つの各種同期会、同好会について各代表から会のPRと勧誘があるがほとんど誰も聞いていない状態。

3時間を経過して最高潮に達した頃、応援団OB4人のリードで校歌、凱歌の斉唱となり歌声がと

どろき渡る。集合写真の撮影は会場の一部を片付けて、ひな壇に整列するところから始まる。120人を超える酔っ払いをちゃんと写すのは大仕事であった。

最後は丸山はる代の「次回は古希を記念して集まろう」との言葉で3時間半の長丁場の会も無事お開きとなった。

上原昇（65期）



思い出の詰まった
記念誌 DVD

芝パーククリニック

日本人間ドック学会

「人間ドック健診施設機能評価」認定施設

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1
芝パークビル A 館 2 階
TEL 03-3434-4485 FAX 03-3434-4007
<http://www.shibapark-clinic.jp>

ドタキャンゼロ 49人参加し同期会

63期

第63期卒業生は今年から来年にかけて全員70歳を迎えます。今年も恒例の関東同期会を6月4日秋葉原の居酒屋で開催しました。計49人が参加、何とドタキャン「ゼロ」は正直驚きでした。

昨年同様、今年も卒業以来初めて参加というメンバーが何人もおり、51年ぶりの再会に「生きているうちに間に合った」と涙を流して(?)抱き合い喜び合いました。今年のサプライズは乾杯の音頭



51年ぶりの再会も

を63期のマドンナの一人鈴木(旧姓安田)さんをお願いしたことです。

2次会はいつもの秋葉原駅前の場合の高級スナック「SABO」で20人以上がカラオケ大会を楽しましました。おじいちゃん、おばあちゃんたちは「高校3年生」を口ずさみながら帰路に就きましたとさ...

西村耕三(63期)

理科系班OB会

上田からも3人参加

第12回理科系班OB会は8月27日、千代田区の大庄水産・内神田店で行われ、15人が参加しました。清水周先生(47期)をはじめ3人が上田から参加されました。初参加は埼玉県の原田義則さん(65期)、理科系班ではなかったが、日立製作所基礎研究所で丸山瑛一さん(51期)の部下だったことから誘われたとのこと。堀内弘栄さん(51期)が「地学(火山)について思う事」と題して小講演をしました。浅間火山と箱根火山について成立過程や、周辺の地質分析、地層が表れている露頭では火砕流と降下軽石などの層がはっきり見えるーなど専門的なお話でした。



12回目の理科系班OB会

理科系班OB会は第3回までは「化学班OB会」で4回から現在の名称になった。化学・生物・物理・天文・電気・写真の各班出身者が参加しています。毎年8月の最終土曜日か日曜日に行われるので、在籍された方、または興味のある方はお気軽にご参加ください。石井則男(64期)

noryish@gmail.com

同窓生の新刊本

この欄では同窓生の皆さんが最近出版した本を掲載しています。紹介したい新刊図書がありましたら、遠慮なく左記のメールアドレスにご連絡ください。

matsu-tetsu@m01.itcom.net

(定価は外税)

「ターンアラウンド」

大日方 真(54期)



ダイヤモンド社
1500円

先進的な企業の経営者が、バブル崩壊で22億円の不良債権を抱えて窮地に陥るも、二十数年をかけた返し切った凋落と再興のドラマ。

「赤松小三郎ともう一つの明治維新」

関 良基(86期)



作品社
1800円

江戸時代末期に赤松小三郎が唱えていた議会政治は、現行憲法の理念と比べても何ら遜色のない内容であり、社会的支持も得ていた。

「何度も作りたくなる決定版お持ちよりレシピ」

阪下千恵(93期)



新星出版社
1200円

主菜、前菜、おつまみ、サラダ、スイーツなど絶対はずさない、印象に残る大定番のお持ちよりレシピを紹介。

「かわいい子どものおべんとう」

阪下千恵(93期)



朝日新聞出版
1000円

簡単でかわいいおべんとうレシピを紹介。大きさや味、かみ切りやすさなど子どもが完食しやすいアイデアが満載。

「まるわかりFinTechの教科書」

丸山隆平(65期)



プレジデント社
1300円

米国発祥で世界を揺るがす、ITと融合した先進的な金融サービス「フィンテック」を解説した入門書。

同期会を開いたら会報に次の回はきつと参加者が増えます。紙面に限りあり。早い者勝ち！常連も新顔グループも歓迎。早めに編集長まで声掛けを。編集長 松本哲夫 matsu-tetsu@m01.itcom.net



会員短信

総会の出欠はがきより

40期 児玉安彦

今年3月、新幹線が青函トンネルを通って北海道まで開通しました。私は本州側の初代の所長として幾多の困難と闘いましたので、是非乗りたいと、計画したのですが、誘おうと思った2、3、4代は既に亡くなられ乗車を断念、残念です。

毎日自主トレに励んでいます。
49期 依田好雄
2015年10月から介護療養型老人保健施設に入居中です。

50期 金井忠雄

旧制上田中学校時代から6年間学びました。上田松尾高等学校、そして上田高校と呼び方も変わって今日に至りました。これから大きく発展していくことを期待しています。

44-5期 手塚敬一

「田植どき生まれし吾もはや卒寿」現在大田区NPO（はせさんず）、詩吟、カラオケ、絵手紙、俳句などの幹事役、海兵76期の世話人ほか海軍関係世話役。脚、腰の痛み以外体不調無し。

50期 滝澤主計

古文書解読で暇をつぶしております。2年前の胃がん開腹手術も経過は良好です。

44-4期 高橋昭平

会報うえだ92号の「上田城保存に貢献した丸山平八郎」で、上田城の土地・建物が丸山家から松平家を通して上田市に帰属し、上田城の今日があるの事を初めて知り、丸山家が上田市に対してなした偉業に驚いております。

47期 上野平八郎

85歳になりました。心身ともかなりいかれてきましたが、何とか生きています。

49期 風間 充

84歳を過ぎましたが健康です。

52期 武半正一

1950年の上田松尾高の文化祭で木下順二作の『夕鶴』を演じた演劇班の6人が7月2日、新国立劇場でオペラ『夕鶴』を鑑賞、記憶と目の前の実像の違いを楽しみました。

54期 倉島 彰

92号では「短信」に掲載していただき、ありがとうございます。昨秋、咽頭腫瘍の手術を受けましたが、おかげさまで回復し、趣味の男声合唱に打ち込んでおります。

| 期 | 氏名 | 金額 (円) | 54 | 馬場武彦 | 1,000 | 65 | 宮原 豊 | 2,000 | 71 | 吉池 豊 | 2,000 |
|------|-------|--------|----|-------|--------|----|-------|-------|----|-------|---------|
| 38 | 荒木廣之 | 3,000 | 55 | 宮島光男 | 2,000 | 66 | 秋山信悟 | 2,000 | 72 | 青沼 泉 | 2,000 |
| 42 | 増田官太郎 | 10,000 | 55 | 和田 守 | 5,000 | 66 | 石井千里 | 1,000 | 72 | 滝沢秀彦 | 1,000 |
| 44-5 | 甲田悌三 | 2,000 | 56 | 神津 進 | 2,000 | 66 | 塩野崎英二 | 2,000 | 74 | 川村 真 | 2,000 |
| 44-5 | 田中悦次 | 2,000 | 56 | 笹沢政道 | 4,000 | 66 | 清水通男 | 4,000 | 78 | 渡邊 博 | 4,000 |
| 44-4 | 高橋昭平 | 2,000 | 56 | 成田邦夫 | 2,000 | 66 | 田口 博 | 2,000 | 79 | 坂田尚美 | 2,000 |
| 44-4 | 滝沢源平 | 2,000 | 57 | 田村義昭 | 20,000 | 67 | 大井健太 | 1,000 | 79 | 笹沢英生 | 2,000 |
| 44-4 | 中村 司 | 2,000 | 60 | 池田 清 | 1,000 | 67 | 坂本正樹 | 1,000 | 79 | 高寺利行 | 1,000 |
| 46 | 清水巻郎 | 2,000 | 60 | 白井 透 | 4,000 | 67 | 村越 進 | 2,000 | 79 | 戸田有一 | 1,000 |
| 48 | 峰村千徳 | 2,000 | 60 | 日置勇二 | 10,000 | 68 | 小林 誠 | 2,000 | 79 | 戸田由香 | 2,000 |
| 49 | 大石和夫 | 2,000 | 60 | 福島 宣 | 5,000 | 69 | 相場育男 | 4,000 | 79 | 柳原雅子 | 2,000 |
| 49 | 小林恒夫 | 2,000 | 61 | 大草猛生 | 10,000 | 69 | 荒木久文 | 1,000 | 79 | 有志一同 | 6,661 |
| 49 | 鶴見慎一郎 | 2,000 | 61 | 笠井徳爾 | 4,000 | 69 | 荒木由美子 | 2,000 | 80 | 五十嵐剛 | 1,000 |
| 49 | 堀内寅次 | 2,000 | 61 | 滝沢 進 | 4,000 | 69 | 池田有美子 | 2,000 | 80 | 石黒久仁子 | 1,000 |
| 50 | 滝澤主計 | 2,000 | 62 | 川上千秋 | 2,000 | 69 | 磯貝隼人 | 2,000 | 81 | 服部みどり | 2,000 |
| 50 | 翠川 勲 | 2,000 | 62 | 高梨奉男 | 10,000 | 69 | 関 和義 | 1,000 | 81 | 毛利元晶 | 5,000 |
| 50 | 吉村洋一 | 10,000 | 62 | 田島善光 | 1,000 | 69 | 高橋 実 | 2,000 | 81 | 横関正人 | 1,000 |
| 51 | 上原隆雄 | 10,000 | 62 | 永井正夫 | 30,000 | 69 | 野口英行 | 2,000 | 83 | 五十嵐恵子 | 2,000 |
| 51 | 丸山瑛一 | 4,000 | 62 | 依田欣五郎 | 2,000 | 69 | 古畑克己 | 9,000 | 83 | 尾添静子 | 4,000 |
| 51 | 宮川 司 | 2,000 | 63 | 西村耕三 | 1,000 | 69 | 丸山裕一 | 1,000 | 83 | 倉島茂樹 | 20,000 |
| 52 | 小林孝典 | 5,000 | 63 | 藤川 昇 | 2,000 | 69 | 本村龍生 | 2,000 | 95 | 金井信幸 | 1,000 |
| 52 | 武半正一 | 2,000 | 64 | 小林武男 | 5,000 | 69 | 依田隆文 | 4,000 | 96 | 渡辺 匠 | 1,000 |
| 53 | 井澤 保 | 2,000 | 65 | 上原 昇 | 4,000 | 71 | 赤木千江子 | 4,000 | | 有志一同 | 2,000 |
| 53 | 渡辺百枝 | 8,000 | 65 | 丸山暢久 | 4,000 | 71 | 望月亮子 | 4,000 | | 合計 | 343,661 |

ご協力ありがとうございました

Outsourcingの知識集団 株式会社 fellow

取締役社長 古畑克己 (69期)
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

赤松小三郎研究会 〈会員募集中〉

関東同窓会の同好会で、偶数月の第三火曜日
18:30~20:30 に例会開催中！！

もはや赤松小三郎を語らずして
幕末・明治維新を語ることはできない！

<会 長> 丸山瑛一 (51期)
<連絡先> 研究会事務局 荻原貴 (79期) 090-3517-9011
事務局長 小山平六 (62期) kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

寄付者・寄付グループ
(2016年4月1日~9月30日)



54期 田村 朗

同窓会の発展充実ぶりうれしい限りです。良い企画の総会楽しみに出席いたします。

54期 後藤人三

難病など、種々ありましたが何とか克服し、元気になっています。

54期 中村忠勝

今年で卒業60年、軽井沢で記念大会を開きました。

54期 沓掛文哉

永井正夫氏の講演を楽しみにしています。地元上田で同級生の岡崎光雄兄が山極勝三郎博士の顕彰に奔走しています。

54期 深町勝負

元気で毎日を送っています。

54期 櫻井 敬

長い間持病であった不整脈も2年前すべてのボランティア活動を中止してからその気配もすっかりなくなりました。家内も体調が落ち着いていて今後ともこの調子で二人とも余生を過ごせたらと祈願しています。

54期 古見喜八郎

定年になってから始めた合唱も20年近くなります。ここ10年ほどは近くの男声合唱団に所属して1・5〜2年に一度の定期演奏会や、月に2〜3回の介護施設への出前演奏会など、年間を通じた活動で合唱漬けの日々です。

54期 山崎茂幸

会報「うえだ」充実し読みやすいと思えました。基金の活用について賛同します。ただ基金が減るのが心配です。会費徴収の際、基金を募つてはどうですか。

56期 成田邦夫

会の運営、会報の発行など、経験者の一人として大変さ、苦労良く分かります。頑張ってください。

57期 田沢雄二郎

5月にポーランドを旅行した際、アウシュビッツに行きましたが、ホロコーストのすさまじさの一端を肌で感じました。

57期 宮坂幸雄

私がふるさとを離れてから57年もちまます。「故郷の山に向かひて言ふことなし 故郷の山はありがたきかな」啄木の歌はすてきじゃありませんか。

57期 榎本金二

元気に過ごしております。

57期 野田晃弘

ボリュームのある内容の濃い会報になっていきます。真山隆夫さんの訃報にショックでした。彼の編集貢献も大きかったようですね。真山さんとは昨年の東京丸子会の総会で同じテーブルでした。寡黙で体調の悪さが感じられましたが、まさか。残念です。

60期 小山比呂志

6月5日の上田高校吹奏楽団定期演奏会に行ってきました。昨年より演奏が進化し、全国大会出場を目指しています。演奏会終了後、一昨年立ち上げましたOB/OG会「松奏会」の年次総会、懇親会が行われました。

60期 田中一穂

故郷に戻って11年になり、信州人を楽しんでいます。

61期 笠井徳爾

講演会、演奏会、楽しみにしています。日ごろ会えない人も大勢参加して総会を盛り上げたいですね。

61期 小山 満

毎年秋に松葉彌人形店で書道班OBによる上田松尾が丘書展が開催されています。私も出品しています。

62期 滝澤 淳

初めての出席ですが楽しみたいと思います。62期の今年の旅行は高野山蓮華定院の宿坊、大阪とのこと。楽しみです。

62期 岩井重一

郷土の偉人、山極勝三郎博士のヒューマン・ドラマが映画化されるのは大変うれしい限りです。同期の永井さんのプロデュースにエールを送ります。

62期 佐藤澄江

60歳代は趣味も楽しみながらの生活でしたが、後半になり家族の病気などで同じ屋根の下で暮らせることを大切にしていこうと思いつながら過ごす日々です。

68期 山浦雄一

7月3日で退官となります。弁護士に戻ってかつてと同じようにマチ弁として仕事を予定しています。4年半の経験を生かして良質な法的支援に努めるつもりです。

63期 山浦善樹

同窓会本部の理事を務めています。本部理事長も日置勇二さん(60期)から金子元昭さん(68期)にバトンタッチされ、新体制でスタートしました。日置さん、8年間ご苦労さまでした。

67期 岩崎 章

3月で退職しました。4月9日真田の郷を巡り、サントミューゼ大ホールで黒坂黒太郎さんのコカリナのコンサートを聴きました。懐かしい音色に心が癒やされました。母校や上田城にも足を運び満開の桜を堪能しました。

67期 山本修士

3月末でサラリーマンを卒業しました。年金生活者になりましたが、「毎日歩く」ことで元気に過ごしたいと思います。

68期 山浦雄一

今年5月、上田創造館の初代名誉館長に就任いたしました。また

IT技術者募集中

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>

ゴルフ同好会に参加しませんか!

毎年、春と秋にゴルフコンペを開催
母校の先輩・後輩との新しい交流が生まれます

次回コンペは4月7日(金) 泉カントリー倶楽部

【ゴルフ同好会幹事代表】 古畑克巳 (69期)

TEL 090-6042-0566 cpafuruh@tky.3web.ne.jp



東京で仕事をしていますが、地元の子供たちの育成にも尽力いたします。

69期 箕輪保幸

完全リタイアに向けて準備中です。(登山、囲碁、ボーリング、ハーフマラソンなど)

69期 野口英行

今まで幽霊でしたが退職も迫りそろそろ参加させていただきます。

71期 小林英夫

71期3組の恒例東京同級会を2月に開催。少しも変わらない女子2人、すっかり変わった男子6人で近況報告など。今秋の再会を約し散会。

72期 大井信幸
3年前よりメキシコにおります。

72期 小林正典
今年3月にヤマハ発動機を定年退職。1年間顧問としての自由時間を充電に充てています。

永六輔さんを悼む

栗山正雄(62期)



永六輔さん(本名・孝雄)は当校に1年ほど在籍されました。

50期が同期です。関東同窓会の会員として、会報創刊号にも寄稿いただいております。ご著書の題名にもある「大往生」だったとのこと。

心に残る多くの歌の作詞をされた他、個性あふれた軽妙な語り口の素晴らしい方で、私も小学生時代からラジオでのトークが楽しみでした。高校時代、来校され講演もありました。

永さんは、戦時中小諸に疎開し、上田に通学。都会っ子ということ

で、いじめに遭い、上田にはあまり良い思い出は無いそうですが、その時の悔しい気持ちをベースに作詞したのが、あの世界的大ヒット曲「上を向いて歩こう」です。安保闘争挫折説もありますが、四季を詠いこんでいて一時的思いではないこと、大人の歌とは必ずしも感じさせないことから間違いないでしょう。

5年前になりますが、店主が私の知人だった浅草某老舗が催した演芸会で、プロデュースされた永さんと言葉を交わせたことが、初めてで最後の対面の思い出となりました。ご冥福をお祈りいたします。

写真は「うえだ」創刊号に掲載された永六輔さん

74期 飯嶋俊樹
時々HPを見て上田の情報を楽しんでいきます。

75期 一之瀬康利

事業方針変更により、マレーシアから戻って来ました。

79期 井出浩一

「真田丸」によるプラス面での影響が、故郷上田に永く続いていくことを祈っております。

79期 荻原 貴

「真田丸」放映の年に総会・懇親会を実行委員として思い出深いものにするため、頑張ります。息子・幸村は今年4月から社会人として船出しました。

81期 毛利元晶

フリーペーパーをやっている上田の弟の嫁が、何年も前から市長らとNHKに何度も真田幸村の大河ドラマをと陳情に行っていたそうです。報われて良かった。

95期 荻原雅史

建築設計事務所を経営しています。行事にはなかなか参加できませんが、諸先輩方のご活躍、会報で知り、とても楽しみにしております。

103期 大谷真宙

会報で真山さんのご逝去の報に接し驚いております。満30歳となりいよいよこれからどうしているのか考えております。

訃報

心よりお悔やみ申し上げます

| 期 | 氏名 | 死亡年月日 | 期 | 氏名 | 死亡年月日 | 期 | 氏名 | 死亡年月日 |
|----|-------|-------------|----|--------|------------|----|-------|-------------|
| 35 | 中山 順藏 | 2016年5月4日 | 51 | 小胎 治雄 | 2016年7月1日 | 61 | 岸井 進二 | 2015年 |
| 40 | 滝沢 新次 | 2016年2月27日 | 51 | 小野澤 哲夫 | 2015年6月 | 61 | 神津 寛 | 2011年 |
| 47 | 馬場 善一 | 2016年 | 52 | 掛川 正司 | 2016年2月 | 61 | 池内 信生 | 2014年 |
| 48 | 堀内 道夫 | 2015年12月29日 | 58 | 関 有 二 | 2015年3月25日 | 62 | 鷹野 和夫 | 2015年12月11日 |
| 48 | 古沢 襄 | 2016年5月29日 | 58 | 小山 太郎 | 2015年11月2日 | 63 | 北澤 啓雄 | 2015年7月15日 |
| 49 | 町田 健一 | 2016年3月 | 58 | 中村 国武 | 2013年9月24日 | 66 | 笹澤 厚 | 2015年12月17日 |
| 50 | 永 六輔 | 2016年7月7日 | 59 | 林 克明 | 2016年3月2日 | | | |

編集後記

フェイスブックは利用し
たことがない。必要があつてアクセスしてみたところ、何も入力していないのに古い友人に交じって、おいやめいの名前が三つも出てきてびっくりした。「お友達申請して近況を交換しませんか」と問い掛けがあつたが「もう十分お知り合いだしな」と画面から退出した▼丸山副会長の声掛けで今年も実施した座談会では、いかに多くの人に総会や同期会に参加してもらおうかという課題が再びテーマになった。103期の若手が2人参加してくれ「連絡先の分からない人もフェイスブックは有効」などの説明があり、IT音痴の私も有効なツールと改めて認識した▼座談会を終えたある参加者は「総会参加のきっかけは各世代共通で、同期や先輩、いとこなどから直接誘われたこと」と総括した。やはり最後は「電話や直接会った時の声掛けが最も有効」なようだ▼彼は「SNSを利用しない手はない。これから同期会を結成する期や、同期のつながりを深めようとしている期の皆さんには併せて同期のフェイスブック立ち上げもお勧めする」と話す。なお冒頭の私の用件はメールで済ませた。松本哲夫



佐久大学学長に就任した堀内ふきさん (66期)



学長室で 堀内ふきさん

健康長寿・地域医療の先進地域の佐久市に2008年開設した佐久大学の学長に16年4月就任した。4年制の看護大学で大学院、別科助産専攻もある。

「女性が自律して働き続けるためには手に職を」との思いで、聖路加看護大学（現聖路加国際大学）に入学した。大学案内には、看護学を学ぶところと紹介があり、看護の大学はその時2校しかなかった。

聖路加の良かった点は、医師と看護師は車の両輪という考え方が根底にあり、医師のほうが偉いとか、言われた通りやるのが看護師という教育は受けなかったという。「看護は面白い。この道でやっていこう」と思ったのは1年生の終わりごろだった。併設の聖路加国際病院に早くから出入りし、病院のことを知り、臨床の場で働く人たちを見て「ああ、こういう人たちのようになってみたい」と

思うようになった。

入学当時は学園闘争の最後の頃だった。3年生までは全寮制で寮生活のしぼりに反発もあった。大学の中に自治をと、学園新聞を出し、3年生の時には自治会長もやった。新聞を編集したり、さまざまに刺激を受けたりしながら学生生活を楽しく送ったという。

卒業後は看護師を経て、東京都老人総合研究所に就職した。併設の老人専門病院（700床）で兼務しながら研究員として働いた。「お年寄りや患者の方々と触れ合うのがすごく楽しかった。臨床が好き。実践で教えてもらうことを大事にした」という。

平成になって看護の大学がどんどん増えたが、専門の「老年看護学」を教える人がいなかった。「老年看護学は私たちの世代が創始者」と言えるかもしれないという。老年看護学のカリキュラム編成にも関わった。老年看護の教育が始まる時、介護保険制度ができる時など、いつも関係していたという。その後、「教えるのは恥ずかしくていやだった」が茨城県立医療大学の助教授として教育の現場へ。50人のクラスで学生の名前も全て分かり、教えたことを学

生はすごくよく吸収してくれた。「教員というのも楽しいな」と思ったという。この大学は付属病院があり、「忙しかったけれど臨床を離れずに教育できるのがとても良かった」という。

そして、今信州に戻ってきて、佐久大学の魅力の一つは、地域医療の拠点にあるので、佐久医療センター、佐久総合病院、佐久市立国保浅間総合病院など実習の場に恵まれていること。実習から学ぶことは多く、実習に行くと学生はすごく成長するという。

学長に「なってしまって」直接教えることは少なくなったが、学長室のドアはいつも開けているので時には学生が来てくれる。学内に「意見箱」はあるが「学長室に直接行こうよ」と話に来てくれる学生もいてうれしかった、と学生との交流を大切にしたいと話す。

台湾やタイなどからの研修生の受け入れは今年だけでもすでに5件。海外から高齢者ケアや認知症ケアを学びに来る。「地方の小さな大学ですが、国際色が強い。夢のある、誇れる大学にしたいです」。青木村出身。



J R 佐久平駅近くにある佐久大学全景

あなたの関東同窓会の維持・発展のために

年会費 2 千円の納入をお願いします

上田高校関東同窓会は1948年上田松尾高校同窓会東京支部として発足、1983年には独立した「関東同窓会」として会則を制定しました。発足以来70年にもなるという歴史ある組織です。1969年には会報「うえだ」が発刊され今93号をお届けするに至っています。会則第3条の同窓会事業の第1には「会報の発行」と記載されています。

関東同窓会は母校支援を中心にさまざまな活動をしています。活動は会員の皆さまの年会費で運営されているのはご

存知の通りです。残念ながら会費納付率は25%、総額で約291万円に留まっているのが現状です。（2015年度実績）

会報「うえだ」は年2回発行、約5,630人の同窓会全員に送っており、その経費は総額約275万円ですから、年会費は、ほぼ会報発行費用となってしまいます。

そこのお願いです。年会費未納の方々は会報をご覧いただいたら、すぐに同封の払込取扱票を持って郵便局へ！

会計長 塩野崎 英二 (66期)